

# FinePlay!!

～ 互いに助け合う集団に～



豊中市立第五中学校  
第1学年 65期 No.32  
2017年1月11日(水)



平成二十九年



明けましておめでとうございます  
おめでとーう  
あけまして  
おめでとーう  
あけまして  
おめでとーう



明けましておめでとうございます。18日間の冬休みは、元気に過ごせましたか。計画的に宿題に取り組めた人、部活動に一生懸命取り組んだ人、率先しておうちの手伝いをした人など、それぞれの過ごし方で充実した毎日を送っていたことでしょう。

さて、中学1年生の3学期がスタートしました。スタートした今、どのような気持ちでどのような

目標を持って学校生活を送っていますか。3学期は約50日しか登校しません。この少ない日数の中で、中学1年生としての集大成、そして中学2年生への準備をしっかりとしていきたいものですね。1・2学期にやり残している「みんなが安心して過ごせる空間」を自分たちの力で作り上げていきましょう。

そして、今日から“授業”が始まりました。大事なことは、①ベル着 ②話を聞く ③提出物 です。①のベル着については、2学期最後の学年集会で各クラスの班長さんが65期の課題として発表してくれました。決めたからには、みんなで達成できるように、そしてやり切れるようにがんばりましょう！



## ～クリーン作戦おつかれさま～



12月22日(木)にクリーン作戦を行いました。環境美化委員さん・議員さん・ボランティアの人たちが教室・ろう下を徹底してきれいにしてくれました。今年は雨だったので教室の換気扇や壁、普段の清掃でしない部分を中心にみがきました。

参加メンバー全員のおかげで美しくなり、気持ちよく新学期を迎えることができます。ありがとうございます。このように、自分からきれいにしよう！という“ボランティア精神”を大切にしたいですね。このきれいな環境をみんなで保っていきましょう。

そして、この話にちなんで…。年始に良いニュースがあったのでぜひ読んで下さい。

鴻巣署は4日、県道に散乱していた古紙を一人で回収した行田市在住、県立鴻巣高校1年の湯本里咲さん(16)に感謝状を贈った。見て見ぬふりをして通り過ぎる自分を受け入れられず、後先のことを考えずに一心不乱に集めた行動は、周囲の心を揺り動かした。

自転車で通学している湯本さんは昨年12月21日夕方、鴻巣市屈巢の県道を通りがかった際、新聞紙や折り込みチラシが半径約3メートルにかけて大量に散乱しているのを目の当たりにした。一度はそのまま通り過ぎたものの、「何もしていない自分に辛くなった」と戻って来た。

当初は古紙を自転車の前かごに積んで自宅に持ち帰ろうとしたが、収まり切れない。約500メートル離れたコンビニエンスストアへ行き、ゴミ袋を買って戻り、再び拾い集めた。現場は交通量の激しい通り。湯本さんは青信号になるたびにひたすら拾い続けた。

午後5時20分ごろ、同署に「女子高生が落とした荷物を一人で拾っている。かわいそうだから助けてほしい」と連絡が入った。署員が駆け付けると、すでにごみ袋3袋分、計10キロの古紙が回収されていた。持ち帰り方法を考えていた矢先に署員が到着。安心した湯本さんの目からは涙が流れた。

高校ではバスケット部に所属している湯本さん。学校周辺のごみ拾いなど美化活動をしてから朝の練習に取り組んでおり、「学校でもやっているのだから当たり前と思って拾いました」と振り返った。

市村知孝署長から感謝状を贈られ、湯本さんは「周りの事をもっと見られる一年にしたいです」とほほ笑んだ。

この記事を読んで何を思いますか。みなさんもこの勇気ある行動が取れますか。大人でもなかなかできないことを当たり前に行っている高校生。すばらしいの一言です。自分のゴミでもないのに拾い、そして何もしていない自分に辛くなった。というこの人間性を見習いたいものです。

普段当たり前に行っていることもすばらしいですが、それをたった1人で、どんな状況でもできることがすごいですね。

みなさんも日頃から感謝されることを積極的にしてほしいです。

感謝

2017.1.11